

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 実習課題・計画作成	授業の種類 (講義・ 演習 ・実技)	授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>社会福祉援助技術・現場実習の準備を行う。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉援助技術・現場実習が滞りなく実施できるように、課題ノート整理を行う。 ・社会福祉援助技術・現場実習が滞りなく実施できるように、実習ノート整理を行う。 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第1回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第2回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第3回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第4回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第5回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第6回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第7回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第8回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第9回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第10回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第11回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第12回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第13回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第14回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第15回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第16回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第17回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第18回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第19回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第20回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第21回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第22回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第23回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第24回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第25回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第26回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第27回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第28回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p>			

第 29 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理

第 30 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理

[使用テキスト・参考文献]

東北福祉大学社会福祉援助技術・現場実習、
課題ノート・実習ノート

[単位認定の方法及び基準]

- ・単位取得には 8 割以上の出席が必要
- ・筆記試験を課し、到達目標の 6 割以上の修得が必要

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 社会福祉援助技術現場実習前指導		授業の種類 (講義)・演習・実技		授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>介護の現場で必要とされるベッドメイキング・移動・移乗などの介護技術を復習することで、社会福祉援助技術実習を円滑に行えるようにする。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキングがペアで出来る。 ・側臥位から車いす移乗までの一連の介助を一人で行うことができる。 ・おむつ交換をすることができる。 					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ベッドメイキングができる 2 上方移動・平行移動ができる 3 側臥位から座位／端座位から車いす移乗① 4 側臥位から座位／端座位から車いす移乗② 5 トイレ介助／おむつ交換 6 食事介助 7 入浴介助 8 期末考査 9 復習① 10 復習② 11 復習③ 12 復習④ 13 復習⑤ 14 復習⑥ 15 復習⑦ 					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>特になし</p>			<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要 		

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 社会福祉士国家試験対策 I	授業の種類 (<u>講義</u> ・演習・実技)	授業担当者 川本 公代 (実務経験者)
授業の回数 30 回	時間数 (単位数) 60 時間 (2 単位)	配当学年・時期 2 年・前期
(<u>必修</u> ・選択)		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の基盤と専門職の基礎を再確認し、応用力をつける。 ・相談援助の理論と方法について基礎を再確認し、応用力をつける。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去問題を確実に解くことができる。 		
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>レビューブックに準拠したプリント+問題答練</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ソーシャルワークの形成過程 イギリス 2 ソーシャルワークの形成過程 アメリカ 3 ソーシャルワークのグローバル定義 4 ソーシャルワークの主な機能・研究者 5 社会福祉士及び介護福祉士法 6 認定社会福祉士制度 7 社会福祉士の倫理綱領・行動規範・その他の専門職 8 人と環境の相互作用 様々な実践モデルとアプローチ 1 9 様々な実践モデルとアプローチ 2 10 様々な実践モデルとアプローチ 3 11 相談援助の展開過程 インテーク～アフターケア 12 ケアマネジメント アセスメントツール 13 効果測定 記録の文体 ICT の活用 14 相談援助における援助関係 15 面接技術 面接の留意点 16 バイステックの 7 原則 17 社会資源の活用・調整・開発 18 ネットワーキング ソーシャルサポートネットワーク 19 グループワークにおける展開過程 グループダイナミクス 20 コノプカのグループワーク セルフヘルプ 21 スーパービジョン コンサルテーション 22 個人情報保護法 23 高齢社会白書 問題作成 24 生活基礎調査 問題作成 25 介護保険制度 1 概要 改正の変遷と地域包括ケアシステム 26 介護保険制度 2 被保険者と保険者 関係機関とその役割 27 介護保険制度 2 被保険者と保険者 関係機関とその役割 28 介護保険制度 3 サービスの種類と内容 29 介護保険制度 4 介護保険施設の種類とサービス 30 介護保険制度 5 介護予防・日常生活自立支援事業 		

<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>社会福祉士国試のためのレビューブック 2020 ク 模擬試験過去問題</p>	<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 単位取得には 8 割以上の出席が必要・ 筆記試験を課し、到達目標の 6 割以上の修得が必要
--	---

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 社会福祉士国家試験対策Ⅱ	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実技)	授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>各科目(心理学理論と心理的支援,就労支援サービス)の基礎を復習し知識の整理をする。模擬問題に触れ、解き方、問題の傾向を学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>各科目模擬試験の正答率が50%以上となっている。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第1回 心と脳／欲求・動機づけと行動</p> <p>第2回 適応(防衛)機制</p> <p>第3回 感覚・知覚・認知</p> <p>第4回 学習・記憶・思考</p> <p>第5回 人格・性格・類型論・特性論</p> <p>第6回 集団・発達</p> <p>第7回 人の成長・発達と心理・発達段階、発達課題 PM 理論</p> <p>第8回 アタッチメント・アイデンティティ・臨界期</p> <p>第9回 ストレスとストレッサー・ストレスマネジメント</p> <p>第10回 人格検査</p> <p>第11回 カウンセリングの概念と範囲</p> <p>第12回 心理療法①</p> <p>第13回 心理療法②</p> <p>第14回 心理学のまとめ整理</p> <p>第15回 雇用・就労の動向</p> <p>第16回 労働法規の概要</p> <p>第17回 生活保護制度における就労支援</p> <p>第18回 障害者福祉制度における就労支援</p> <p>第19回 障害者雇用率制度</p> <p>第20回 ハローワークと就労支援</p> <p>第21回 就労支援における専門職の役割と実際</p> <p>第22回 他分野との連携</p> <p>第23回 就労政策等</p> <p>第24回・第25回・第26回・第27回・第28回・第29回・第30回 4科目総復習</p>			
[使用テキスト・参考文献] 社会福祉士国試のためのビューブック2019 社会福祉士国試これだけ1問1等要点まとめ2019		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要	

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

科目名 社会福祉士国家試験対策Ⅲ		授業の種類 講義		授業担当者 立花 匡真	
授業回数 30回	時間数(単位数) 60時間(2単位)	配当学年・時期 2年・前期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 過去問題が解けるようになる 					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	テーマ	コマ数	テーマ		
1	社会学(第1回)	16	社会学(第4回)		
2	福祉行財政と福祉計画(第1回)	17	福祉行財政と福祉計画(第4回)		
3	社会保障(第1回)	18	社会保障(第4回)		
4	公的扶助論(第1回)	19	公的扶助論(第4回)		
5	法学(第1回)	20	法学(第4回)		
6	社会学(第2回)	21	社会学(第5回)		
7	福祉行財政と福祉計画(第2回)	22	福祉行財政と福祉計画(第5回)		
8	社会保障(第2回)	23	社会保障(第5回)		
9	公的扶助論(第2回)	24	公的扶助論(第5回)		
10	法学(第2回)	25	法学(第5回)		
11	社会学(第3回)	26	社会学(第6回)		
12	福祉行財政と福祉計画(第3回)	27	福祉行財政と福祉計画(第6回)		
13	社会保障(第3回)	28	社会保障(第6回)		
14	公的扶助論(第3回)	29	公的扶助論(第6回)		
15	法学(第3回)	30	法学(第6回)		
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>レビューブック、クエスチョンバンク</p>			<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要 		

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

科目名 社会福祉士国家試験対策Ⅳ	授業の種類 講義	授業担当者 前原良彦 立花匡真 川本公代 (実務経験者) 名地 宙 (実務経験者)	
授業回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける [授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 1 過去問題が解けるようになる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	テーマ	コマ数	テーマ
1	社会学 (第7回)	16	児童・家庭福祉論 (第1回)
2	福祉行財政と福祉計画 (第7回)	17	就労支援サービス (第1回)
3	社会保障 (第7回)	18	更生保護制度 (第1回)
4	公的扶助論 (第7回)	19	更生保護制度 (第2回)
5	法学 (第7回)	20	更生保護制度 (第3回)
6	社会学 (第8回)	21	相談援助の基盤と専門職1
7	福祉行財政と福祉計画 (第8回)	22	相談援助の基盤と専門職2
8	医学一般 (第1回)	23	相談援助の理論と方法1
9	保健医療サービス (第1回)	24	相談援助の理論と方法2
10	医学一般 (第2回)	25	模擬試験
11	保健医療サービス (第2回)	26	模擬試験
12	医学一般 (第3回)	27	模擬試験
13	保健医療サービス (第3回)	28	模擬試験
14	医学一般 (第4回)	29	模擬試験
15	地域福祉論 (第1回)	30	模擬試験
担当者割り振り 1～14 立花 15～17 名地 18～20 前原 21～30 川本			
[使用テキスト・参考文献] レビューブック、クエスチョンバンク		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要	

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

科目名 社会福祉士国家試験対策V	授業の種類 講義	授業担当者 名地 宙 (実務経験者)																																							
授業回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修																																						
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける [授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 1 過去問題が解けるようになる																																									
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr><td style="width: 50%;">1 福祉サービスの組織と経営</td><td style="width: 50%;">20 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>2 福祉サービスの組織と経営</td><td>21 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>3 福祉サービスの組織と経営</td><td>22 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>4 福祉サービスの組織と経営</td><td>23 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>5 福祉サービスの組織と経営</td><td>24 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>6 福祉サービスの組織と経営</td><td>25 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>7 福祉サービスの組織と経営</td><td>26 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>8 福祉サービスの組織と経営</td><td>27 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>9 地域福祉論</td><td>28 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>10 地域福祉論</td><td>29 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>11 地域福祉論</td><td>30 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>12 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>13 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>14 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>15 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>16 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>17 児童・家庭福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>18 児童・家庭福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>19 児童・家庭福祉論</td><td></td></tr> </table>				1 福祉サービスの組織と経営	20 児童・家庭福祉論	2 福祉サービスの組織と経営	21 児童・家庭福祉論	3 福祉サービスの組織と経営	22 児童・家庭福祉論	4 福祉サービスの組織と経営	23 児童・家庭福祉論	5 福祉サービスの組織と経営	24 児童・家庭福祉論	6 福祉サービスの組織と経営	25 就労支援サービス	7 福祉サービスの組織と経営	26 就労支援サービス	8 福祉サービスの組織と経営	27 就労支援サービス	9 地域福祉論	28 就労支援サービス	10 地域福祉論	29 就労支援サービス	11 地域福祉論	30 就労支援サービス	12 地域福祉論		13 地域福祉論		14 地域福祉論		15 地域福祉論		16 地域福祉論		17 児童・家庭福祉論		18 児童・家庭福祉論		19 児童・家庭福祉論	
1 福祉サービスの組織と経営	20 児童・家庭福祉論																																								
2 福祉サービスの組織と経営	21 児童・家庭福祉論																																								
3 福祉サービスの組織と経営	22 児童・家庭福祉論																																								
4 福祉サービスの組織と経営	23 児童・家庭福祉論																																								
5 福祉サービスの組織と経営	24 児童・家庭福祉論																																								
6 福祉サービスの組織と経営	25 就労支援サービス																																								
7 福祉サービスの組織と経営	26 就労支援サービス																																								
8 福祉サービスの組織と経営	27 就労支援サービス																																								
9 地域福祉論	28 就労支援サービス																																								
10 地域福祉論	29 就労支援サービス																																								
11 地域福祉論	30 就労支援サービス																																								
12 地域福祉論																																									
13 地域福祉論																																									
14 地域福祉論																																									
15 地域福祉論																																									
16 地域福祉論																																									
17 児童・家庭福祉論																																									
18 児童・家庭福祉論																																									
19 児童・家庭福祉論																																									
[使用テキスト・参考文献] レビューブック、クエスチョンバンク 目で見て覚える U-CAN その他市販の問題集等		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要																																							

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 就職実務	授業の種類 (講義 演習 ・ 実技)	授業担当者 佐藤 明 前原 良彦	
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい] 就職説明会 (ガイダンス) を通じ、就職手続きについて/求職票の書き方を学び、自己分析や企業研究をし、専門学校生に求められる能力を知る。 履歴書シートを作成し、適性検査・一般試験対策・面接指導を通じ、就職内定を目指す。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 就職内定に関する基本知識を理解し適切に説明できる。 企業と学生との狭間にある問題を理解し、面接練習等で適切な回答ができる。 学生の内定に向けて、自信をつける。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 第1回 就職説明会 (ガイダンス) 第2回 就職手続きについて/求職票の書き方 第3回 専門学校生に求められる能力 第4回 自己分析 第5回 企業研究 第6回 履歴書シート 第7回 適性検査・一般試験対策 第8回 面接指導 第9回 面接指導 第10回 個別対応 第11回 動画鑑賞「何者」朝井リョウ原作 第12回 面接練習 第13回 面接練習 第14回 面接試験 1回目 第15回 面接試験 2回目			
[使用テキスト・参考文献] 特になし		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・実技試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要	